

令和5年度神戸市農業活性化協議会（北地域）水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

神戸市北区は、六甲山の北側に位置し、周囲を山に囲まれた山間地域で、夏期は冷涼で冬季は寒冷である。

農村地域は、過疎化、高齢化が進み、兼業農家も多く、農業後継者や担い手など労働力不足が深刻である。

販売農家は少なく、小規模で自給程度の農家が多い。

地域の主要品目は、水稻であり、「灘の酒」の原料となる山田錦の生産が行われている。山田錦(酒米)は、新型コロナウイルス感染症拡大等により需要が低迷していたが、消費の回復に伴い、需要に応じた酒米の生産・出荷が求められている。さらに高品質な山田錦の生産を推進し、酒米としての産地を守る。

水稻作に適した水田が広がる北区においては、循環・環境配慮型農業に取り組みながらあわせて、水稻裏作も含めた野菜等の高収益作物の作付けを推進し、担い手の農業経営の収益を向上させることが必要である。

米のほかには、新鉄砲ゆり、菊などの花卉やいちご、なすなどの野菜が生産されている。

山間地付近ではイノシシ等の被害が大きく、鳥獣害対策が農業者の負担となっている。

土壌は湿潤な重粘土質で、日陰地も多く、麦、そばなど畑作物の栽培に不適な所が多い。

山間の棚田など狭い水田では作業効率が悪く、水路や農道の整備が不十分なところでは、耕作放棄田も増加しており、農地の保全が課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

北区は、六甲山の北側に位置する山間地域で、夏期は冷涼で冬季は寒冷であることを踏まえ、地域の実情に応じた作物の栽培を推進する。

都市近郊に位置する農業地帯である利点を活かし、都市部の需要に応じた北神野菜やいちご、新鉄砲ゆりなどの新鮮な作物を市場や直売所を通じて販売し、転換作物の付加価値の向上を図る。

さらに集落営農組織や担い手の育成により、集落内の農地の集積・集約化を推進し、転換作物の生産性の向上を図るとともに、水稻裏作も含めた野菜等の高収益作物の作付を推進し、農業経営の収益の向上を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

学校給食等地元への供給が不足しているため、畑地化については、地域の農業者の需要動向、担い手の育成、農地の集積・集約化、基盤整備の状況などから、総合的に勘案し、必要に応じて推進を図る。

水稻作に活用される見込みがない農地については作付体系を水田台帳等を活用し定期的に点検し、畑地化支援を含め検討していく。一方で水田機能を有しつつ、麦・大豆等の転換作物を生産する農地については、水稻と転換作物とのブロックローテーションの再構築を促し連作障害の回避、転換作物の生産性向上による安定生産を目指す。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

- ・主食用米については、営農意欲の高い生産者を中心に、コシヒカリ、環境創造米キヌヒカリやヤマフクモチなどのブランド化に取組み、積極的な作付拡大を推進する一方で、キヌヒカリ、ヒノヒカリについては、飲食店等からの需要も高いため、調整水田等の不作付地を活用し、需要に応じて生産の拡大を図る。
- ・加工用米などの非主食用米との組み合わせによりバランスのとれた生産を進める。
- ・山田錦については、これまで増産に取り組んできたが、今後は酒造メーカーとの契約数量の遵守と品質向上に向けた取組みを進める。

(2) 備蓄米 取組予定なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

共同乾燥調製施設の受け入れや保管倉庫等が、山田錦に重点を置いた体制をとっているため、山田錦と収穫時期が重なる品種の取り扱いが難しく、多収かつ早生の品種という条件下では推進が難しい。

イ 米粉用米

低コスト化を推進し、生産量の確保に努める。

ウ 新市場開拓用米

低コスト化を推進し、生産量の確保に努める。

エ WCS 用稲

有畜農家との検討会等を通じ、実需者のニーズに応じた飼料の生産を進める。

オ 加工用米

加工用米については、酒造用のかけ米に一定の需要があるため、酒米の産地である当地域では、加工用米についても酒造好適米とともに、引き続き取り組んでいく必要がある。主食用米と組み合わせた取組みを継続し、需要者へ安定供給を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

- ・(麦・大豆) 集落営農組織を中心に、作業の効率化を図り、低コスト生産を進める。
- ・(麦・大豆) 湿潤害を減らすため排水対策を強化し、収量増加と品質向上を図る。
- ・大豆については、営農組織等担い手経営体を中心に、栽培技術の向上を推進し、生産量の拡大を図る。
- ・「北神みそ」は直売所等を中心に需要があるので、原料となる白大豆の生産量を確保し続け、地域特産品としてブランド力の強化を支援する。
- ・飼料作物については、有畜農家の自家利用生産が中心となっており、耕種農家との連携が可能な WCS 用稲を推進する。

(5) そば、なたね

- ・地域振興作物として、道の駅「淡河」等市内で提供されるそばの原材料となるものの生産を支援する。
- ・そばうち体験などイベントに供されるそばの生産拡大を推進する。
- ・湿害対策として、額縁明渠などの排水対策を推進し、収量の増加を図る。

(6) 地力増進作物

- ・高収益作物等への転換に向けた土づくりを支援する。

(7) 高収益作物

- ・野菜については、直売所向けの生産や学校給食用野菜の出荷など、地産地消を推進する。
- ・花卉、花木、種苗類については、消費者ニーズや需要に応じた品目・品質の生産出荷を推進する。
- ・野菜、花卉類の施設園芸を振興し、周年栽培と高品質化による所得向上を推進する。
- ・「新鉄砲ゆり」、「いちご」については、地域特産品として品質向上と産地競争力の強化を図る。
- ・「スイートコーン」については、新たな地域特産品として、観光もぎとり農園を中心に生産拡大を進め、ブランド化を支援する。
- ・「北神ねぎ」、「北神くり南瓜」の地域特産品としてのブランドを確立するため、作付拡大と品質向上を推進する。
- ・トマト、なす、きく、はくさい、レタス、ブロッコリーの地域振興作物は、作付拡大を推進する。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	918.02	0	880	0	850	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	20.27	0	21	0	25	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	4.41	0	5	0	8	0
WCS用稲	9.56	0	10	0	12	0
加工用米	2.21	0	2.3	0	3	0
麦	3.74	0	4	0	5	0
大豆	13.38	0.97	15	1	18	5
飼料作物	5.3	0	6	0	8	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	3.03	2.35	3	2.5	5	3
なたね	0	0	0.2	0.2	0.2	0.2
地力増進作物	5.66	0	10	0.2	13	0.2
高収益作物	201.24	3.03	210	5	230	10
・野菜	157.18	3.03	165	5	180	10
・花き・花木	22.52	0	23	0	25	0
・果樹	19.41	0	20	0	23	0
・その他の高収益作物	2.13	0	2	0	2	0
その他						
畑地化	0	0	0.5	0	1	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）（a） （令和4年度）	目標値（a） （令和5年度）
1	北神ねぎ	北神ねぎの取組助成	北神ねぎ交付対象面積 拡大	169	200
2	いちご、新鉄砲ゆり	地域振興作物助成①	地域振興作物交付対象 面積拡大	1,151	1,300
3	北神くり南瓜、なす、菊、 レタス、えだまめ、スイー トコーン、ブロッコリー	地域振興作物助成②	地域振興作物交付対象 面積拡大	1,495	1,950
4	ブロッコリー	二毛作推進加算（二毛 作）	ブロッコリー交付対象 面積拡大	182	200
5	白大豆	白大豆（北神みそ）の取組助 成（数量助成）（基幹）	北神みそ用大豆出荷数 量拡大（30kg袋）（交付対 象数）	168	170
6	白大豆	白大豆（北神みそ）の取組助 成（数量助成）（二毛作）			
7	たまねぎ	給食用たまねぎ数量助成	給食用たまねぎの交付 対象出荷数量拡大（ケー ス）	801	1,900
8	北神ねぎ	給食用ねぎ数量助成	給食用ねぎの交付対象 出荷数量拡大	40	520
9	そば	そばの取組助成（排水 対策）（基幹）	そばの排水対策交付対 象面積拡大	52	280
10	そば	そばの取組助成（排水 対策）（二毛作）			
11	そば	集落営農そば助成（基 幹）	そばの排水対策交付対 象面積拡大	235	300
12	そば	集落営農そば助成（二 毛作）			
13	麦	集落営農集積助成 （麦）	集落営農組織の麦の交 付対象面積拡大	329	380
14	野菜、花卉、大豆等	集落営農組織への集積 加算	集落営農組織への集積 加算対象面積拡大	420	450
15	野菜、花卉等	担い手の作付助成	担い手の作付助成対象 面積拡大	2,173	2,100
16	野菜、花卉、大豆等	担い手規模加算	担い手の作付助成対象 面積拡大	2,138	1,950
17	WCS用稲	耕畜連携助成（耕畜連 携）	資源循環の取組面積拡 大（交付対象面積）	93	300

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:兵庫県

協議会名:神戸市農業活性化協議会(北)

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	北神ねぎの取組助成	1	34,000	北神ねぎ	取組計画書の提出。指定の品種・出荷規定等で出荷。
2	地域振興作物助成①	1	18,000	いちご、新鉄砲ゆり	対象品目を1a以上作付すること。
3	地域振興作物助成②	1	11,000	北神くり南瓜、なす、菊、レタス、えだまめ、 スイートコーン、ブロッコリー	対象品目を1a以上作付すること。
4	二毛作推進加算(二毛作)	2	10,000	ブロッコリー	スイートコーンまたはえだまめの後作でブロッコリーを作付すること。
5	白大豆(北神みそ)の取組助成(数量助成) (基幹)	1	25,000	白大豆	「北神みそ」用の白大豆として出荷すること。
6	白大豆(北神みそ)の取組助成(数量助成) (二毛作)	2	25,000	白大豆	「北神みそ」用の白大豆として出荷すること。
7	給食用たまねぎ数量助成	1	42,000	たまねぎ	取組計画書の提出。給食用のたまねぎとして出荷すること。
8	給食用ねぎ数量助成	1	42,000	北神ねぎ	取組計画書の提出。給食用のねぎとして出荷すること。
9	そばの取組助成(排水対策)(基幹)	1	19,000	そば	排水対策を実施すること。
10	そばの取組助成(排水対策)(二毛作)	2	19,000	そば	排水対策を実施すること。
11	集落営農そば助成(基幹)	1	39,000	そば	排水対策を実施すること。
12	集落営農そば助成(二毛作)	2	39,000	そば	排水対策を実施すること。
13	集落営農集積助成(麦)	1	5,000	麦	対象品目を1a以上作付すること。
14	集落営農組織への集積加算	1	8,000	野菜、花卉、大豆等 (参考)対象作物一覧表のとおり。	60a以上作付すること。
15	担い手の作付助成	1	6,000	野菜、花卉等 (参考)対象作物一覧表のとおり。	対象品目を1a以上作付すること。
16	担い手規模加算	1	7,000	野菜、花卉、大豆等 (参考)対象作物一覧表のとおり。	30a以上作付すること。
17	耕畜連携助成(耕畜連携)	3	9,000	WCS用稲	畜産農家との複数年契約を締結すること。堆肥の散布をすること。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(参考) 対象作物一覧表

カ テ ゴ リ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号			
農 作 物	麦	小麦	1 0 0	13			
		小麦（種子用）	1 0 1				
		六条大麦	1 0 2	13			
		二条大麦	1 0 4	13			
		はだか麦	1 0 6	13			
	大豆	青大豆	1 0 9		14・16		
		白大豆（一般）	1 2 2	5・6	14・16		
		白大豆（契約）	1 2 3	5・6	14・16		
		白大豆（種子用）	1 1 2				
		黒大豆	1 1 0		14・16		
観 光 物	緑 茶	黒大豆（種子用）	1 1 1				
		青刈りとうもろこし	1 2 4				
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	1 2 5				
		わら専用稲	1 1 3				
		その他青刈り（デオシント、青刈り麦、 青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	1 2 6				
	飼 料	永年性牧草（オーチャードグラス、 デモシー、トールフェスク、メードフェスク、 パヒアグラス、アルファルファ、 ケンタッキーブルーグラス、アカクローバー、 シロクローバー、ペレニアルライグラス リードカナリヤグラス、飼料用シバ）	1 2 7				
		イタリアンライグラス	1 2 8				
		その他一年性牧草（ギニアグラス、 カラードギニアグラス、ローズグラス、 バラグラス、ハンゴラグラス、 ネピアグラス、オオクサキビ）	1 2 9				
		飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	1 3 0				
		飼料用穀類（子実用えん麦）	1 3 1				
新 規 需 要 米	稲	青刈りハトムギ（飼料用）	1 3 2				
		子実用はと麦	1 2 1				
		その他飼料作物	1 3 3				
		その他飼料作物（資源循環非対象）	1 3 4				
		飼料用青刈り稲	1 5 7				
	雑 穀	稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、 クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、 はまさり、ホシアオハ、タカナリ、 兵衛餅7号（兵庫牛若丸）、夢あおば	1 3 5	17			
		稲発酵粗飼料用稲（その他）	1 3 6	17			
		飼料用米	1 1 6				
		米粉用米	1 1 5				
		加工用米	1 1 9				
そ の 他 作 業	新 規 需 要 米	そば	1 1 7	9・10	11・12		
		なたね	1 1 8				
		きゅうり	2 0 0	15	14・16		
		トマト	2 0 1	15	14・16		
		なす	2 0 2	15	14・16	3	
	観 光 物	大市なす	2 8 5	15	14・16		
		ピーマン	2 0 3	15	14・16		
		ししとう	2 8 8	15	14・16		
		トウガラシ	2 9 3	15	14・16		
		ズッキーニ	2 8 9	15	14・16		
作 業	観 光 物	かぼちゃ	2 0 4	15	14・16		
		くり南瓜	2 8 2	15	14・16	3	
		いちご	2 0 5	15	14・16	2	
		ずいか	2 0 6	15	14・16		
		メロン	2 0 7	15	14・16		
	新 規 需 要 米	キャベツ	2 0 8	15	14・16		
		キャベツ（裏作転作）	2 0 9				
		はくさい	2 4 8	15	14・16		
		はくさい（裏作転作）	2 1 0				
		さんとうさい	2 9 2	15	14・16		
作 業	観 光 物	ほうれんそう	2 1 1	15	14・16		
		オクラ	2 6 2	15	14・16		
		ハス	2 6 8	15	14・16		
	新 規 需 要 米						

カ テ ゴ リ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号			
農 作 物	麦	ねぎ	2 1 2	15	14・16		
		太ねぎ	2 6 3	15	14・16		
		岩津ねぎ	2 6 5	15	14・16		
		丹波ひかみねぎ	2 6 6	15	14・16		
		たまねぎ	2 5 4	15	14・16	7	
	大豆	たまねぎ（裏作転作）	2 1 3				
		らっきょ	2 9 1	15	14・16		
		レタス	2 1 4	15	14・16	3	
		レタス（裏作転作）	2 6 4				
		だいこん	2 5 6	15	14・16		
観 光 物	緑 茶	だいこん（裏作転作）	2 1 5				
		青味だいこん	2 8 4	15	14・16		
		にんじん	2 1 6	15	14・16		
		にんじん（裏作転作）	2 8 7				
		さといも	2 1 7	15	14・16		
	飼 料	れんこん	2 1 8	15	14・16		
		しょうが（根シガ）	2 1 9	15	14・16		
		えだまめ（白大豆）	2 2 0	15	14・16	3	
		えだまめ（黒大豆）	2 5 5	15	14・16	3	
		青さやいんげん	2 2 1	15	14・16		
新 規 需 要 米	稲	米成熟とうもろこし	2 2 2	15	14・16	3	
		食用ばれいしょ	2 2 3	15	14・16		
		食用かんしょ	2 2 4	15	14・16		
		苧蓆（あまいも）	2 8 1	15	14・16		
		アスパラガス	2 2 5	15	14・16		
	雑 穀	きのご膳	2 2 6	15	14・16		
		ブロックリー	2 2 7	15	14・16	3・4	
		ニラ	2 2 8	15	14・16		
		やまのいも	2 2 9	15	14・16		
		米成熟そらまめ	2 3 0	15	14・16		
作 業	観 光 物	一寸そら豆	2 3 7	15	14・16		
		しゅんぎく	2 3 1	15	14・16		
		青さやえんどう	2 3 2	15	14・16		
		うすいえんどう	2 3 8	15	14・16		
		かぶ	2 3 3	15	14・16		
	新 規 需 要 米	ごぼう	2 3 4	15	14・16		
		まくわうり	2 3 5	15	14・16		
		しろうり	2 3 6	15	14・16		
		べっちゃんり	2 8 0	15	14・16		
		とうがん	2 8 6	15	14・16		
作 業	観 光 物	セロリ	2 3 9	15	14・16		
		食用なばな	2 8 3	15	14・16		
		その他つなび類	2 4 0	15	14・16		
		みつば	2 4 1	15	14・16		
		バセリ	2 4 2	15	14・16		
	新 規 需 要 米	ふき	2 4 3	15	14・16		
		しそ	2 4 4	15	14・16		
		なた豆	2 4 5	15	14・16		
		うど	2 4 6	15	14・16		
		キクイモ	2 4 7	15	14・16		
作 業	観 光 物	チンゲンサイ	2 4 9	15	14・16		
		その他中国野菜	2 5 0	15	14・16		
		その他野菜	2 5 1	15	14・16		
		加工食品用ばれいしょ	2 5 2	15	14・16		
		カリフラワー	2 5 3	15	14・16		
	新 規 需 要 米	しろな	2 5 7	15	14・16		
		こまつな	2 5 8	15	14・16		
		みずな	2 5 9	15	14・16		
		ヤーコン	2 6 0	15	14・16		
		わさび	2 6 1	15	14・16		
作 業	観 光 物	セリ	2 6 7	15	14・16		
		その他灌水性作物	2 6 9	15	14・16		
		モロヘイヤ	2 7 0	15	14・16		
		パジル	2 7 1	15	14・16		
		ハーブ	2 9 0	15	14・16		
	新 規 需 要 米						

カ テ ゴ リ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号				
の そ の 他 作 業 物	野 菜	ニンニク	2 7 2	15	14・16			
		ニンニク（特産）	2 7 3	15	14・16			
		みょうが	2 7 4	15	14・16			
		ゴーヤ	2 7 5	15	14・16			
		よもぎ	2 7 6	15	14・16			
	果 物	わらび	2 7 7	15	14・16			
		ごこみ	2 7 8	15	14・16			
		施設野菜	2 7 9					
		日本なし	4 0 1					
		西洋なし	4 0 2					
		もも	4 0 3					
		うめ	4 0 4					
		びわ	4 0 5					
		かき	4 0 6					
		くり	4 0 7					
		いちじく	4 0 8					
		キウイフルーツ	4 0 9					
		ゆず	4 1 0					
		すだち	4 1 1					
		ブルーベリー	4 1 3					
		うんしゅうみかん	4 1 4					
		りんご	4 1 5					
	ぶどう	4 1 6						
	おうとう	4 1 7						
	その他果樹	4 1 2						
	花 き	花き	5 0 0	15	14・16			
		若松	5 0 1					
花木		5 0 4						
種苗類		5 0 2						
芝		5 0 3	15	14・16				
ツノナス		5 0 5	15	14・16				
カーネーション		5 0 6	15	14・16				
ストック		5 0 7	15	14・16				
なたね（花）		5 0 8	15	14・16				
キク		5 0 9	15	14・16	3			
キンセンカ		5 1 0	15	14・16				
地 力 増 進 作 物		地力増進水稲	6 5 8					
		とうもろこし（地力）	6 5 0					
		ソルガム（地力）	6 5 1					
		クローバー（アカ、シロ）	6 5 2					
	れんげ（地力）	6 5 3						
景 観 形 成 作 物	ヘアリーベッチ（地力）	6 5 4						
	その他地力増進作物	6 5 5						
	コスモス	7 0 0						
	ひまわり（景観）	7 0 1						
	なたね（景観）	7 0 2						
	マリーゴールド	7 0 3						
	れんげ（景観）	7 0 4						
	そば（景観）	7 0 5						
	べにばな	7 0 6						
	チューリップ	7 0 8						
ヘアリーベッチ（景観）	7 0 9							
その他景観形成作物	7 0 7							

令和5年度神戸市農業活性化協議会（西）水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

＜現 状（令和5年度）＞

主要品目は水稻であり、その他に都市近郊を活かした野菜・花きなど園芸作物の生産も盛んである。営農に意欲的な農業者は主に経営改善計画の認定を受けた認定農業者となっているが、土地利用型農業の担い手ではなく、農業者の大半は小規模な兼業農家であり、農業収益よりも省力型農業が営まれている。

＜課 題（令和5年度）＞

生産者の高齢化に伴い、いずれの品目も作付面積が減少傾向にあるため、集落営農組織や新規就農者等の担い手を育成し、産地の維持・拡大につなげていく必要がある。

主食用米については、生産調整の廃止に伴い、需要に応じた生産が重要となっており、本協議会においては、需要動向調査等をもとに生産目安を提供し、生産拡大を図る。

また、主食用米以外の新規需要米等についても効率化・低コスト化を図りながら、所得を向上させることが課題である。

あわせて、水稻裏作も含めた野菜等の高収益作物の作付けを推進し、担い手の農業経営の収益を向上させることが必要である。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に

向けた産地としての取組方針・目標

温暖で平野部が多い地域であることから、地域の実情に応じた園芸作物の栽培を推進する。

また、都市近郊に位置する農業地帯である利点を活かし、都市部の需要に応じた軟弱野菜やキャベツなどの新鮮な作物を市場や直売所を通じて販売し、転換作物の付加価値の向上を図る。

集落営農組織や担い手の育成により、集落内の農地の集積・集約化を推進し、更に、集落営農組織の広域法人の設立により、転換作物の生産性の向上を図るとともに、水稻裏作も含めた野菜等の高収益作物の作付を推進し、農業経営の収益の向上を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

地元産野菜の学校給食への供給等が不足しているため、畑地化については、地域の農業者の需要動向、担い手の育成、農地の集積・集約化、基盤整備の状況などから、総合的に勘案し、水稻作に活用される見込みがない農地を必要に応じて点検して、畑地化支援を含め検討していく。

一方で、水稻作に活用できる見込みのある農地については、地力増進作物推進助成を活用し、少ない労働力の中で土づくりを行うことができる取組を推進することで、水稻と転換作物とのローテーション体系の構築を図る。

4 作物ごとの取組方針等

需要に応じた米生産を効率的に誘導するため、主食用米および新規需要米等の作付けについて、需要動向を把握しながら推進するとともに、担い手への集積を促進する。

また、野菜を中心に都市近郊の立地条件を活かした園芸作物の生産・出荷促進を図る。

(1) 主食用米

市内の販売農家の平均作付面積は約 50a で、水稻専門の農家は非常に少ない。大部分の稲作農家は兼業でかつ小規模のため、水稻経営は赤字ではあるが、水田の維持、管理に重点を置く場合が多い。

一方で、大きな消費地に近い立地条件を活かして独自の販売ルートを確保し、栽培方法で特色ある米を生産できる農家は、水田をフルに活用して米の販売収入を伸ばしている例もある。

今後、農地の維持、管理が中心の農家については、担い手不足や高齢化に対応して生産コストや労力の軽減を図るため、集落営農の組織化や活動のレベルアップを推進する。

生産意欲の高い農家やそのグループについては、ブランド化への取組みを尊重する。また、独自の販売ルート等を確保している農業者等に対しては作付拡大を推進する。

全体としては、需要に応じた作付けとなるように推進していく。

(2) 備蓄米

現在、取り組んでいないが、需要動向に応じて推進を図る。

(3) 非主食用米

兼業農家や集落営農組織が取り組みやすいため、関係団体と連携して需要を掘り起こし、国の制度の活用によって、調整水田等の不作付地を利用した生産拡大を図る。

ア 飼料用米

多収品種の導入、栽培管理の向上によって収量の増加をすすめる。

イ 米粉用米

現在、取組者はいないが、需要動向に応じて推進を図る。

ウ 新市場開拓用米

現在、取組者はいないが、需要動向に応じて推進を図る。

エ WCS 用稲

酪農家での需要の掘り起こしを図る。

オ 加工用米

主食用米と同様に生産でき取組みやすいため、需要に応じた生産をすすめる。

(4) 麦、大豆

少数の農業者が作付けしているのみで、今後大きな需要の増加は見込まれないため、現状の面積を維持していく。

(5) 飼料作物

生産資材等の価格高騰に苦慮している畜産農家を支援するため、作付面積の拡大を図る。

(6) そば、なたね

特定の集落営農組織において作付が定着しているが、今後大幅な需要の増加は見込まれないため、現状の面積を維持していく。

(7) 地力増進作物

少ない労働力の中で土づくりを行うことができる取組を推進することで、水稻と転換作物とのローテーション体系の構築を図る。

(8) 高収益作物

都市近郊の立地条件を活かした園芸作物の生産拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

次ページ以降のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和5年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1,220.4	0.0	1,220.0	0.0	1,200.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料用米	112.6	0.0	115.0	0.0	120.0	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
WCS用稲	68.0	0.0	69.0	0.0	70.0	0.0
加工用米	1.6	0.0	2.0	0.0	15.0	0.0
麦	8.4	6.8	8.4	6.8	8.5	7.0
大豆	22.6	0.0	22.6	0.0	23.0	0.0
飼料作物	44.0	18.8	45.0	20.0	46.0	21.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
そば	4.1	0.0	4.1	0.0	10.0	0.0
なたね	1.1	1.1	1.1	1.1	3.0	3.0
地力増進作物	27.6	0.0	27.6	0.0	29.2	0.0
高収益作物	563.8	24.6	565.1	24.6	591.8	25.0
・野菜	513.7	24.6	515.0	24.6	541.1	25.0
・花き・花木	12.2	0.0	12.2	0.0	12.4	0.0
・果樹	35.8	0.0	35.8	0.0	35.8	0.0
・その他の高収益作物	2.1	0.0	2.1	0.0	2.5	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
18	WCS用稲 米粉用米	担い手集積助成 （稲発酵粗飼料・米粉用米）	交付対象面積の拡大	（令和4年度） 43.3ha	（令和5年度） 50.0ha
19	飼料用米	担い手集積助成 （飼料用米）	交付対象面積の拡大 農地の集積・集約化	（令和4年度）99.3ha （令和4年度）97ha	（令和5年度）100.0ha （令和5年度）100.0ha
20	そば、なたね	担い手集積助成（そば・なたね）	交付対象面積の拡大	（令和4年度）	（令和5年度）
21		（基幹、二毛作）		そば 3.7ha なたね 1.1ha	そば 7.5ha なたね 2.0ha
22	学校給食用野菜 （たまねぎ・にんじん・じゃがいも）	学校給食用野菜出荷促進加算 （基幹、二毛作）	交付対象面積の拡大	（令和4年度） 3.5ha	（令和5年度） 6.0ha
24	野菜	集落営農所得向上取組加算	交付対象面積の拡大	（令和4年度）	（令和5年度）
25		（基幹、二毛作）		1.9ha	3.0ha
26	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	二毛作助成	交付対象面積の拡大	（令和4年度） 29.1ha	（令和5年度） 30.0ha
27	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	耕畜連携助成 （わら利用、水田放牧、資源循環）	交付対象面積の拡大	（令和4年度） 43.1ha	（令和5年度） 46.0ha
28	野菜	二毛作助成 （水稻＋野菜）	交付対象面積の拡大	（令和4年度） 2.8ha	（令和5年度） 7.5ha
29	一般作物	集積助成 （一般作物）	交付対象面積の拡大	（令和4年度） —	（令和5年度） 200.5ha
30	小松菜、キャベツ、水菜、キクナ、ほうれん草、チンゲンサイ、トマト、ブロッコリー、きゅうり、にら、モロヘイヤ、青ネギ、しろな、スイートコーン、レタス、ナス、大根、花	地域振興作物助成	交付対象面積の拡大	（令和4年度） —	（令和5年度） 66.0ha
31	野菜、花卉、大豆、そば、なたね、麦	農地維持奨励助成	交付対象面積の拡大	（令和4年度）	（令和5年度）
32				—	1.0ha

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県:兵庫県

協議会名:神戸市西水田農業推進協議会

整理番号	使途	作期等	単価 (円/10a)	対象作物	取組要件等
18	担い手集積助成(稲発酵粗飼料・米粉用米)	1	9,000	稲発酵粗飼料・米粉用米	対象作物を80a以上作付。担い手(認定農業者等)が対象。
19	担い手集積助成(飼料用米)	1	9,000	飼料用米	対象作物を80a以上作付。うち40a以上が借受地。担い手(認定農業者等)が対象。
20	担い手集積助成(そば・なたね)	1	6,000	そば・なたね	対象作物を80a以上作付。担い手(認定農業者等)が対象。
21	担い手集積助成(そば・なたね)(二毛作)	2	6,000	そば・なたね	対象作物を80a以上作付。担い手(認定農業者等)が対象。
22	学校給食用野菜出荷促進加算	1	35,000	じゃがいも、たまねぎ、にんじん	出荷数量に応じて支援(225円/10kg)。1/20出荷分まで。
23	学校給食用野菜出荷促進加算(二毛作)	2	35,000	じゃがいも、たまねぎ、にんじん	出荷数量に応じて支援(225円/10kg)。1/20出荷分まで。
24	集落営農所得向上取組加算	1	25,000	野菜(学校給食用野菜出荷促進加算対象の野菜を除く)	出荷数量に応じて支援(4円/kg)
25	集落営農所得向上取組加算(二毛作)	2	25,000	野菜(学校給食用野菜出荷促進加算対象の野菜を除く)	出荷数量に応じて支援(4円/kg)
26	二毛作助成(戦略作物等)	2	9,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	「(基幹)主食用米と(二毛)対象作物」「(基幹)対象作物と(二毛)対象作物」の二毛作を作付
27	耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)	3	9,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	畜産農家との複数年の供給協定
28	二毛作助成(水稲+野菜)	2	4,000	野菜(学校給食用野菜出荷促進加算対象の野菜を除く)	水稲(WCS用稲含む)のあとに対象作物を作付。作付面積80a以上。
29	集積助成(露地一般作物)	1	7,000	野菜、花卉、小豆、落花生	①、②のいずれか ①施設において対象作物を15a以上作付。 ②露地・施設で対象作物を40a以上作付(交付対象は露地部分の作付面積のみ)
30	地域振興作物助成	1	5,000	小松菜、キャベツ、水菜、キクナ、ほうれん草、チンゲンサイ、トマト、ブロッコリー、きゅうり、にら、モロヘイヤ、青ネギ、しろな、スイートコーン、レタス、ナス、大根、花	対象品目を出荷する市内生産部会に所属する農家
31	農地維持奨励助成	1	5,000	野菜、花卉、大豆、そば、なたね、麦	3年間連続で自己保全管理等となっていた水田において、対象作物を作付・出荷
32	農地維持奨励助成(二毛作)	2	5,000	野菜、花卉、大豆、そば、なたね、麦	3年間連続で自己保全管理等となっていた水田において、対象作物を作付・出荷

(参考) 対象作物一覧表

カテ ゴリ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号					
麦	小	小麦	1 0 0	26	31・32				
		小麦（種子用）	1 0 1						
		六条大麦	1 0 2	26	31・32				
		二条大麦	1 0 4	26	31・32				
	大	はだか麦	1 0 6	26	31・32				
		青大豆	1 0 9	26	31・32				
		白大豆（一般）	1 2 2	26	31・32				
		白大豆（契約）	1 2 3	26	31・32				
		白大豆（種子用）	1 1 2						
		黒大豆	1 1 0	26	31・32				
大豆	小	黒大豆（種子用）	1 1 1						
		青刈りとうもろこし	1 2 4	26	27				
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	1 2 5	26	27				
		わら専用稲	1 1 3	26	27				
	大	その他青刈り（チオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	1 2 6	26	27				
		永年性牧草（オーチャードグラス、チモシー、トールフェスク、メードフェスク、バヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカローパー、シロクローパー、ペレニアルライグラス）	1 2 7	26	27				
		リードカナリーグラス、飼料用シバ）イタリアンライグラス	1 2 8	26	27				
		その他一年性牧草（ギニアグラス、カラドギニアグラス、ローズグラス、バラグラス、ハンゴラグラス、ネビアグラス、オオクサキビ）	1 2 9	26	27				
		飼料用稲稈類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	1 3 0	26	27				
		飼料用穀類（子実用えん麦）	1 3 1	26	27				
飼料作物	小	青刈りハトムギ（飼料用）	1 3 2	26	27				
		子実用はと麦	1 2 1	26	27				
		その他飼料作物	1 3 3	26	27				
		その他飼料作物（資源循環非対象）	1 3 4	26					
	大	飼料用青刈り稲	1 5 7	26	27				
		稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオバ、タカナリ、兵衛銅78号（兵庫牛若丸）、夢あおば	1 3 5	18	26	27			
		稲発酵粗飼料用稲（その他）	1 3 6	18	26	27			
		飼料用米	1 1 6	19	26	27			
		飼料用米（生もみ）	1 7 0	19	26	27			
		米粉用米	1 1 5	18	26				
新規需要米	小	加工用米	1 1 9	26					
		そば	1 1 7	20・21	26	31			
		なたね	1 1 8	20・21	26	31			
		きゅうり	2 0 0	24・25	28	29	30	31・32	
	大	トマト	2 0 1	24・25	28	29	30	31・32	
		なす	2 0 2	24・25	28	29	30	31・32	
		大市なす	2 8 5						
		ピーマン	2 0 3	24・25	28	29	31・32		
		ししとう	2 8 8	24・25	28	29	31・32		
		トウガラシ	2 9 3	24・25	28	29	31・32		
野菜	小	ズッキーニ	2 8 9	24・25	28	29	31・32		
		かぼちゃ	2 0 4	24・25	28	29	31・32		
		くり南瓜	2 8 2	24・25	28	29	31・32		
		いちご	2 0 5	24・25	28	29	31・32		
	大	ずいか	2 0 6	24・25	28	29	31・32		
		メロン	2 0 7	24・25	28	29	31・32		
		キャベツ	2 0 8	24	29	30	31		
		キャベツ（裏作転作）	2 0 9	25	32				
		はくさい	2 4 8	24	29	31			
		はくさい（裏作転作）	2 1 0	25	32				
他作物	小	さんとうさい	2 9 2	24・25	28	29	31・32		
		ほうれんそう	2 1 1	24・25	28	29	30	31・32	
		オクラ	2 6 2	24・25	28	29	31・32		
		ハス	2 6 8	24・25	28	29	31・32		
	大								

カテ ゴリ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号					
麦	小	ねぎ	2 1 2	24・25	28	29	30	31・32	
		太ねぎ	2 6 3	24・25	28	29	30	31・32	
		岩津ねぎ	2 6 5						
		丹波ひかみねぎ	2 6 6						
	大	たまねぎ	2 6 4	22	29	31			
		たまねぎ（裏作転作）	2 1 3	23	32				
		らっきょ	2 9 1	24・25	28	29	31・32		
		レタス	2 1 4	24	29	30	31		
		レタス（裏作転作）	2 6 4	25	28	32			
		だいこん	2 5 6	24	29	30	31		
大豆	小	だいこん（裏作転作）	2 1 5	25	28	32			
		青味だいこん	2 8 4						
		にんじん	2 1 6	22	29	31			
		にんじん（裏作転作）	2 8 7	23	32				
	大	さいとも	2 1 7	24・25	28	29	31・32		
		れんこん	2 1 8	24・25	28	29	31・32		
		しょうが（根ショガ）	2 1 9	24・25	28	29	31・32		
		えだまめ（白大豆）	2 2 0	24・25	28	29	31・32		
		えだまめ（黒大豆）	2 5 5	24・25	28	29	31・32		
		青さやいんげん	2 2 1	24・25	28	29	31・32		
飼料作物	小	未成熟とうもろこし	2 2 2	24・25	28	29	30	31・32	
		食用ばれいしょ	2 2 3	22・23	29	31・32			
		食用かんしょ	2 2 4	24・25	28	29	31・32		
		尼藤（あまいも）	2 8 1						
	大	アスパラガス	2 2 5	24・25	28	29	31・32		
		きのこ類	2 2 6	24・25	28	29	31・32		
		ブロッコリー	2 2 7	24・25	28	29	30	31・32	
		ニラ	2 2 8	24・25	28	29	30	31・32	
		やまのいも	2 2 9	24・25	28	29	31・32		
		未成熟そらめ	2 3 0	24・25	28	29	31・32		
新規需要米	小	一寸そら豆	2 3 7	24・25	28	29	31・32		
		しゅんぎく	2 3 1	24・25	28	29	30	31・32	
		青さやえんどう	2 3 2	24・25	28	29	31・32		
		うすいえんどう	2 3 8	24・25	28	29	31・32		
	大	かぶ	2 3 3	24・25	28	29	31・32		
		ごぼう	2 3 4	24・25	28	29	31・32		
		まくわうり	2 3 5	24・25	28	29	31・32		
		しろうり	2 3 6	24・25	28	29	31・32		
		べっちゃんり	2 8 0	24・25	28	29	31・32		
		とうがん	2 8 6	24・25	28	29	31・32		
他作物	小	セロリ	2 3 9	24・25	28	29	31・32		
		食用なばな	2 8 3	24・25	28	29	31・32		
		その他つけな類	2 4 0	24・25	28	29	31・32		
		みつば	2 4 1	24・25	28	29	31・32		
	大	パセリ	2 4 2	24・25	28	29	31・32		
		ふき	2 4 3	24・25	28	29	31・32		
		しそ	2 4 4	24・25	28	29	31・32		
		なた豆	2 4 5	24・25	28	29	31・32		
		うど	2 4 6	24・25	28	29	31・32		
		キクイモ	2 4 7	24・25	28	29	31・32		
野菜	小	チンゲンサイ	2 4 9	24・25	28	29	30	31・32	
		その他中国野菜	2 5 0	24・25	28	29	31・32		
		その他野菜	2 5 1	24・25	28	29	31・32		
		加工食品用ばれいしょ	2 5 2	24・25	28	29	31・32		
	大	カリフラワー	2 5 3	24・25	28	29	31・32		
		ロマネスコ	2 9 4	24・25	28	29	31・32		
		しろな	2 5 7	24・25	28	29	30	31・32	
		こまつな	2 5 8	24・25	28	29	30	31・32	
		みずな	2 5 9	24・25	28	29	30	31・32	
		ヤーコン	2 6 0	24・25	28	29	31・32		
新規需要米	小	わさび	2 6 1	24・25	28	29	31・32		
		セリ	2 6 7	24・25	28	29	31・32		
		その他温水性作物	2 6 9	24・25	28	29	31・32		
		モロヘイヤ	2 7 0	24・25	28	29	30	31・32	
	大	パジル	2 7 0	24・25	28	29	31・32		
		ハーブ	2 9 0	24・25	28	29	31・32		

カテ ゴリ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号					
その の 他 作 物	野菜	ニンニク	2 7 2	24・25	28	29	31・32		
		ニンニク（特産）	2 7 3						
		みょうが	2 7 4	24・25	28	29	31・32		
		ゴーヤ	2 7 5	24・25	28	29	31・32		
		よもぎ	2 7 6	24・25	28	29	31・32		
		わらび	2 7 7	24・25	28	29	31・32		
		こごみ	2 7 8	24・25	28	29	31・32		
		施設野菜	2 7 9	24・25	28	29	31・32		
		日本なし	4 0 1						
		西洋なし	4 0 2						
	果 樹	もも	4 0 3						
		うめ	4 0 4						
		びわ	4 0 5						
		かき	4 0 6						
		くり	4 0 7						
		いちじく	4 0 8						
		キウイフルーツ	4 0 9						
		ゆず	4 1 0						
		すだち	4 1 1						
		ブルーベリー	4 1 3						
	地 力 増 進 作 物	うんしゅうみかん	4 1 4						
		りんご	4 1 5						
		ぶどう	4 1 6						
		おうとう	4 1 7						
		その他果樹	4 1 2						
		山椒	4 1 8						
花き		5 0 0	29	30	31・32				
若松		5 0 1	29	31・32					
花木		5 0 4	29	31・32					
種苗類		5 0 2	29	31・32					
景 観 形 成 作 物	芝	5 0 3	29	31・32					
	ツノナス	5 0 5	29	31・32					
	カーネーション	5 0 6	29	30	31・32				
	ストック	5 0 7	29	30	31・32				
	なたね（花）	5 0 8	29	30	31・32				
	キク	5 0 9	29	30	31・32				
	キンセンカ	5 1 0	29	30	31・32				
	地力増進水稻	6 5 8							
	とうもろこし（地力）	6 5 0							
	ソルガム（地力）	6 5 1							
景 観 形 成 作 物	クローバー（アカ、シロ）	6 5 2							
	れんげ（地力）	6 5 3							
	ヘアリーベッチ（地力）	6 5 4							
	その他地力増進作物	6 5 5							
	コスモス	7 0 0							
	ひまわり（景観）	7 0 1							
	なたね（景観）	7 0 2							
	マリイゴールド	7 0 3							
	れんげ（景観）	7 0 4							
	そば（景観）	7 0 5							
景 観 形 成 作 物	べにばな	7 0 6							
	チュウリップ	7 0 8							
	ヘアリーベッチ（景観）	7 0 9							
	その他景観形成作物	7 0 7							

※その他対象作物									
カテ ゴリ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	整 理 番 号					